

昨今の台風等異常気象時において、トラック運送事業者が輸送の安全を確保することが困難な状況下で荷主が輸送を強要し、トラックが横転や水没するような事態が生じている。

このような状況を受け、(公社)全日本トラック協会より、異常気象時に輸送の拒絶や中止することが可能となるような基準を策定するよう要請があり、令和2年2月28日付けで通達を発出。

## 【通達の概要等】

- ◆ 気象庁が作成する風速や雨量により車両等へ与える影響度合いを示す資料等を基に、気象状況に応じた輸送可否の判断を行うための目安を提示。
- ◆ 荷主団体に対して、輸送の安全の確保が困難な状況下での輸送依頼を抑制するよう、傘下会員への周知を依頼。
- 通達案についてパブリックコメントを実施（令和2年1月6日～同月17日）。

雨の強さと降り方						風の強さと吹き方					
雨の強さ (mm/h)	降り方 (特徴)	人的被害 (イメージ)	人的被害 (イメージ)	輸送の被害 (イメージ)	輸送の被害 (イメージ)	風速 (m/s)	吹き方 (特徴)	人的被害 (イメージ)	人的被害 (イメージ)	輸送の被害 (イメージ)	輸送の被害 (イメージ)
10~20	非常に弱い雨	ほとんど無感	視界がやや悪くなる	道路が濡れる	濡れた路面での急ブレーキによる事故	10~15	非常に弱い風	ほとんど無感	視界がやや悪くなる	道路が濡れる	濡れた路面での急ブレーキによる事故
30~30	弱い雨	少し不快	視界がやや悪くなる	道路が濡れる	濡れた路面での急ブレーキによる事故	15~20	弱い風	ほとんど無感	視界がやや悪くなる	道路が濡れる	濡れた路面での急ブレーキによる事故
30~60	激しい雨	不快	視界がかなり悪くなる	道路が濡れる	濡れた路面での急ブレーキによる事故	20~25	高気圧性雨雲	ほとんど無感	視界がかなり悪くなる	道路が濡れる	濡れた路面での急ブレーキによる事故
30~80	激しい雨	不快	視界がかなり悪くなる	道路が濡れる	濡れた路面での急ブレーキによる事故	25~30	高気圧性雨雲	ほとんど無感	視界がかなり悪くなる	道路が濡れる	濡れた路面での急ブレーキによる事故
80~80	激しい雨	不快	視界がかなり悪くなる	道路が濡れる	濡れた路面での急ブレーキによる事故	30~35	高気圧性雨雲	ほとんど無感	視界がかなり悪くなる	道路が濡れる	濡れた路面での急ブレーキによる事故
80~	激しい雨	不快	視界がかなり悪くなる	道路が濡れる	濡れた路面での急ブレーキによる事故	35~40	高気圧性雨雲	ほとんど無感	視界がかなり悪くなる	道路が濡れる	濡れた路面での急ブレーキによる事故

＜気象庁作成の資料＞

【別表】 異常気象時における措置の目安

気象状況	雨の強さ等	気象庁が示す車両への影響	輸送の目安*
降雨時	20～30mm/h	ワイパーを速くしても見づらい	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	30～50mm/h	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）	輸送を中止することも検討すべき
	50mm/h以上	車の運転は危険	輸送することは適切ではない
暴風時	10～15m/s	道路の吹き流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	15～20m/s	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる	
	20～30m/s	通常で速度で運転するのが困難になる	輸送を中止することも検討すべき
	30m/s以上	走行中のトラックが横転する	輸送することは適切ではない
降雪時	大雪注意報が発表されているときは必要な措置を講じるべき		
視界不良（濃霧・風雪等）時	視界が概ね20m以下であるときは輸送を中止することも検討すべき		
警報発表時	輸送の安全を確保するための措置を講じた上、輸送の可否を判断すべき		

※ 輸送を中止しないことを理由に直ちに行政処分を行うものではないが、国土交通省が実施する監査において、輸送の安全を確保するための措置を適切に講じずに輸送したことが確認された場合には、「貨物自動車運送事業者に対する行政処分等の基準について（平成21年9月29日付け国自安第73号、国自貨第77号、国自整第67号）」に基づき行政処分を行う。

無理な輸送を強要されたら...

# 荷主勧告制度

出典：国土交通省

## 荷主勧告制度とは

荷主勧告は、貨物自動車運送事業法に基づき、トラック運送事業者の過積載運行や過労運転防止措置義務違反等の違反行為に対し行政処分を行う場合に、当該違反行為が荷主の指示によるなどとして荷主の行為に起因するものと認められるときは、国土交通大臣が当該荷主に対し違反行為の再発防止のための適当な措置を執るべきことを勧告するもの。

勧告を発出した場合には、当該荷主名及び事業の概要を公表します。また、法律に基づく勧告のほか、①勧告には至らないものの違反行為への関与が認められる荷主に対する「警告」、②関係機関からの法令違反情報等をもとに関係する荷主を特定し早期に働きかけを行う「協力要請」といった措置を適宜により設けています。

## こんなときは情報提供を!!

上記とは別に、貨物自動車運送事業法附則第1条の2に規定する違反原因行為に該当する荷主の行為の例として、「輸送の安全確保義務違反を招くおそれのある異常気象時など、安全な運行の確保が困難な状況で運行を強要するような行為」も示しています。

輸送の安全を確保できないような運行を強要された場合には下記の国土交通省の「輸送・荷待ち・荷役などに関する輸送実態把握のための意見等の募集窓口」のホームページや適正取引相談窓口へご提供ください。

## 無理な輸送を強要されたら、下記へ情報提供を!

### 輸送・荷待ち・荷役などに関する輸送実態把握のための意見等の募集窓口

#### 方法1

QRコードを読み取り!



#### 方法2

ヤフーやグーグルの検索窓に下記の文字を入力して検索!

輸送・荷待ち・荷役などに関する輸送実態把握のための意見等の募集

検索

#### 輸送・荷待ち・荷役などに関する輸送実態把握のための意見等の募集について

国土交通省では、貨物自動車運送事業者及び荷主のみならず、これまで、「標準運送約款の改正」、「適正取引の推進」、「荷主勧告制度」等を見直ししてきました。これらの取組みに関するご認識、浸透度、実態状況等の実態把握を行うため、輸送・荷待ち・荷役などに関する意見等の募集窓口を設置致します。

#### 意見等の募集窓口

長時間の荷待ちや契約に含まれない附帯業務（追加業務）など、コンプライアンス確保に影響しうる輸送に関する情報をお持ちの場合は、[こちら](#)へ情報をお寄せください。

#### ●お持ちの情報はこちらへ投稿ください

#### 輸送・荷待ち・荷役などに関する輸送実態把握のための意見等の募集について

##### 意見等の募集の目的

国土交通省は、貨物自動車運送に関する事業者の意見、消費者の意見、また、コンプライアンス確保に影響しうる輸送に関する情報、ご意見を収集し、今後の政策の検討に活用いたします。また、事業者の意見、消費者の意見、また、コンプライアンス確保に影響しうる輸送に関する情報、ご意見を収集し、今後の政策の検討に活用いたします。

※本窓口は、事業者の意見、消費者の意見、また、コンプライアンス確保に影響しうる輸送に関する情報、ご意見を収集し、今後の政策の検討に活用いたします。

※本窓口は、事業者の意見、消費者の意見、また、コンプライアンス確保に影響しうる輸送に関する情報、ご意見を収集し、今後の政策の検討に活用いたします。

※本窓口は、事業者の意見、消費者の意見、また、コンプライアンス確保に影響しうる輸送に関する情報、ご意見を収集し、今後の政策の検討に活用いたします。

※本窓口は、事業者の意見、消費者の意見、また、コンプライアンス確保に影響しうる輸送に関する情報、ご意見を収集し、今後の政策の検討に活用いたします。

※本窓口は、事業者の意見、消費者の意見、また、コンプライアンス確保に影響しうる輸送に関する情報、ご意見を収集し、今後の政策の検討に活用いたします。

※本窓口は、事業者の意見、消費者の意見、また、コンプライアンス確保に影響しうる輸送に関する情報、ご意見を収集し、今後の政策の検討に活用いたします。

クリックすると投稿画面が開きます

### 国土交通省適正取引相談窓口

国土交通省 自動車部 貨物課	03-5253-8575	北海道運輸局 自動車交通部 貨物課	025-285-9154	中国運輸局 自動車交通部 貨物課	082-228-3438
北海道運輸局 自動車交通部 貨物課	011-290-2743	中部運輸局 自動車交通部 貨物課	052-952-8037	四国運輸局 自動車交通部 貨物課	087-802-6773
東北運輸局 自動車交通部 貨物課	022-791-7531	近畿運輸局 自動車交通部 貨物課	06-6949-6447	九州運輸局 自動車交通部 貨物課	092-472-2528
関東運輸局 自動車交通部 貨物課	045-211-7248	神戸運輸総局 兵庫運輸部 輸送部門	078-453-1104	沖縄総合事務局 運輸部 海上交通課	098-866-1836

# ドライバーの命と大切な荷物を守るために! 異常気象時は運行中止も視野に...

台風等による異常気象時における無理な運行により、近年、事業用トラックの横転事故等が相次ぐなど、トラック運送事業の遂行に支障をきたす事象が散見されております。

台風等による被害発生が予測される場合には、国から示された「異常気象時における措置の目安」を基に、着荷主・発荷主等とも連携を図りつつ、ドライバーの命と大切な荷物を守るための行動の実践に取り組みましょう。

なお、安全な輸送を行うことができないと判断したにもかかわらず、荷主等に輸送を強要された場合、国土交通省のホームページに設置する「意見等の募集窓口」や、最寄りの地方運輸局又は運輸支局等にその旨通報する手段が設けられています。

## ⚠️ 異常気象時における措置の目安 ⚠️

気象状況	雨の強さ等	気象庁が示す車両への影響	輸送の目安*
<b>降雨時</b> 	20~30mm/h	ワイパーを速くしても見づらい	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	30~50mm/h	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）	輸送を中止することも検討するべき
	50mm/h以上	<b>車の運転は危険</b>	輸送することは適切ではない
<b>暴風時</b> 	10~15m/s	道路の吹き流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	15~20m/s	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる	輸送を中止することも検討するべき
	20~30m/s	通常の速度で運転するのが困難になる	輸送を中止することも検討するべき
<b>降雪時</b> 	30m/s以上	<b>走行中のトラックが横転する</b>	輸送することは適切ではない
		大雪注意報が発表されているときは必要な措置を講じるべき	
<b>視界不良（濃霧・霧等）時</b> 		視界が概ね20m以下であるときは輸送を中止することも検討するべき	
<b>警報発表時</b> 		輸送の安全を確保するための措置を講じた上、輸送の可否を判断するべき	

\* 輸送を中止しないことを理由に直ちに行政処分を行うものではないが、国土交通省が実施する監査において、輸送の安全を確保するための措置を適切に講じずに輸送したことが確認された場合には、「貨物自動車運送事業者に対する行政処分等の基準について（平成21年9月29日付け国土安第73号、国土安第77号、国土安第67号）」に基づき行政処分を行う。

出典：国土交通省自動車部貨物課 監理課 ※この目安は今和2年2月28日現在。

# 異常気象時における気象情報等の入手先(例)

※以下の情報サイトは全日本トラック協会が調べた令和2年6月12日現在の情報です。

## 気象情報

※QRコードの位置は誤認識を防ぐ為の配置となっています。

<b>天気予報</b>  気象庁 天気予報 <a href="https://www.jma.go.jp/jp/yoho/">https://www.jma.go.jp/jp/yoho/</a>	 気象庁 週間天気予報 <a href="https://www.jma.go.jp/jp/week/">https://www.jma.go.jp/jp/week/</a>
<b>降雨時</b>  気象庁 アメダス 降水量 <a href="https://www.jma.go.jp/jp/amedas/000.html?elementCode=0">https://www.jma.go.jp/jp/amedas/000.html?elementCode=0</a>	 tenki.jp 雨雲レーダー <a href="https://tenki.jp/radar/map/">https://tenki.jp/radar/map/</a>
<b>暴風時</b>  気象庁 アメダス 風向・風速 <a href="https://www.jma.go.jp/jp/amedas/000.html?elementCode=1">https://www.jma.go.jp/jp/amedas/000.html?elementCode=1</a>	 YAHOO天気・災害 風予測 <a href="https://weather.yahoo.co.jp/weather/wind/">https://weather.yahoo.co.jp/weather/wind/</a>
<b>降雪時</b>  気象庁 現在の雪 <a href="https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/snow/jp/">https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/snow/jp/</a>	 気象庁 アメダス 積雪深 <a href="https://www.jma.go.jp/jp/amedas/?elementCode=4">https://www.jma.go.jp/jp/amedas/?elementCode=4</a>
<b>視界不良(濃霧・暴風)時</b>  気象庁 気象警報・注意報 濃霧 <a href="https://www.jma.go.jp/jp/warn/000_20.html">https://www.jma.go.jp/jp/warn/000_20.html</a>	 CPS-IPリスクウォッチャー 濃霧注意報・気象警報マップ <a href="http://agora.ex.nii.ac.jp/cps/weather/warning-map/20/">http://agora.ex.nii.ac.jp/cps/weather/warning-map/20/</a>
<b>警報発表時</b>  気象庁 気象警報 注意報 <a href="https://www.jma.go.jp/jp/warn/">https://www.jma.go.jp/jp/warn/</a>	 tenki.jp 警報・注意報 <a href="https://tenki.jp/bousai/warn/">https://tenki.jp/bousai/warn/</a>
<b>ライブカメラ映像</b>  国土交通省 各地方整備局の取組 全国のライブカメラ <a href="https://www.mlit.go.jp/road/bosai/LIVEcamera.html">https://www.mlit.go.jp/road/bosai/LIVEcamera.html</a>	 (公財) 日本道路交通情報センター <a href="http://www.jartc.or.jp/jartc_web/info/snowfall2014.html">http://www.jartc.or.jp/jartc_web/info/snowfall2014.html</a>

お使いのスマートフォンやパソコンによって画面の表示が異なることがあります。また、QRコードの読み取りソフトによってサイトまでの表示手順が異なる場合があります。

## 道路・交通情報

<b>通行止め</b>  国土交通省 ハザードマップポータルサイト <a href="https://disaportal.gsi.go.jp/">https://disaportal.gsi.go.jp/</a>	 (公財) 日本道路交通情報センター 高速道路や一般道路の通行止め、渋滞、冬用タイヤ必要等の情報 <a href="http://www.jartc.or.jp/">http://www.jartc.or.jp/</a>
<b>渋滞情報</b>  ドラとら <a href="https://www.drivetraffic.jp/">https://www.drivetraffic.jp/</a>	 
<b>雪道情報</b>  国土交通省 冬の道路情報 雪みち情報リンク集 <a href="https://www.mlit.go.jp/road/fuyumichi/fuyumichi.html">https://www.mlit.go.jp/road/fuyumichi/fuyumichi.html</a>	 国土交通省北陸管区対策技術センター おしえて！雪ナビ <a href="http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/yukinavi/">http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/yukinavi/</a>
<b>異常気象時の運転注意</b>  国土交通省 冬の道路情報 雪みちの運転テクニックに関するリンク集 <a href="https://www.mlit.go.jp/road/fuyumichi/drive.html">https://www.mlit.go.jp/road/fuyumichi/drive.html</a>	 JAF 台風・大雨時のクルマに関する注意 <a href="https://jaf.or.jp/commom/attention/flood">https://jaf.or.jp/commom/attention/flood</a>

## 各情報をもとにとるべき行動と、相当する警戒レベルについて

出典：気象庁

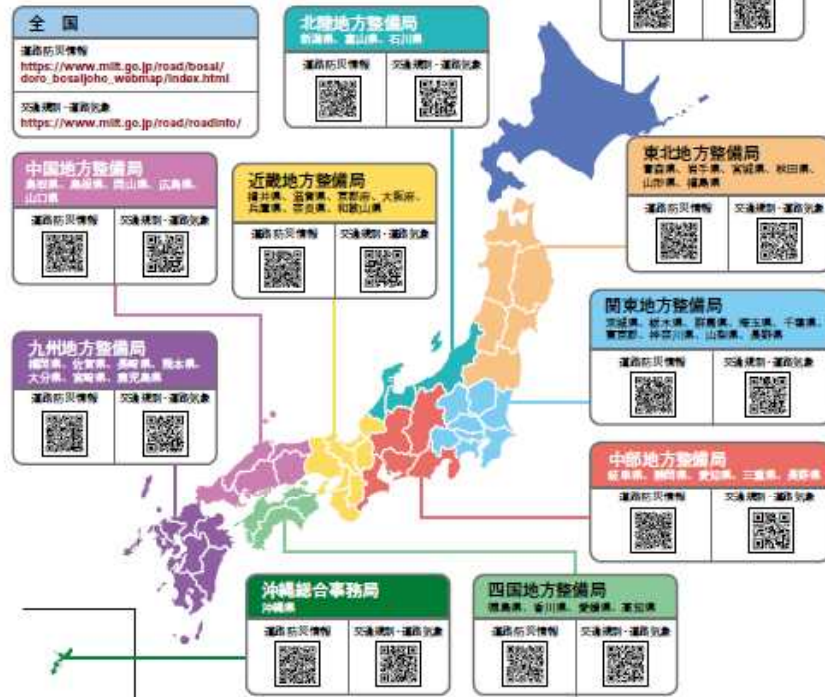
情報	とるべき行動	警戒レベル
大雨特別警報	災害がすでに発生していることを示す警戒レベル5に相当します。何らかの災害がすでに発生している可能性が高まって高い状況となっています。命を守るための最善の行動をとってください。	警戒レベル5相当
土砂災害警戒情報 高潮特別警報 高潮警報 <sup>※1</sup>	地域の自治体が避難勧告を発する目安となる情報です。避難が必要とされる警戒レベル4に相当します。災害が想定されている区域等では、自治体からの避難勧告の発令に留意するとともに、避難勧告が発令されていなくても危険度分布等を用いて自ら避難の判断をしてください。	警戒レベル4相当
大雨警報 (土砂災害) <sup>※2</sup> 洪水警報 高潮注意報 高潮注意報 (高潮に切り替える可能性が高いもの <sup>※3</sup> )	地域の自治体が避難準備・高齢者等避難開始を発令する目安となる情報です。高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当します。災害が想定されている区域等では、自治体からの避難準備・高齢者等避難開始の発令に留意するとともに、危険度分布等を用いて高齢者等の方は自ら避難の判断をしてください。	警戒レベル3相当
大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 (高潮に切り替える可能性が高いもの <sup>※3</sup> )	避難行動の継続が必要とされる警戒レベル2です。ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認してください。	警戒レベル2

- ※1 暴風警報が発令されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難が必要とされる警戒レベル4に相当します。
- ※2 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当します。
- ※3 警報に切り替える可能性については、市町村ごとの警報・注意報のページで確認ください。

## 道路管理者が提供する道路情報

※道路防災情報：事前通行規制区域、洪水想定箇所等

※交通規制・道路気象：道路に関する規制情報やお天気情報、路面情報



## 高速道路情報

<b>全国高速道路交通情報 (リアルタイムな渋滞規制情報)</b> (公財) 日本道路交通情報センター <a href="http://www.jartc.or.jp/">http://www.jartc.or.jp/</a>	アイハイウェイ (中日本) <a href="https://www.e-ihighway.jp/pcsite/">https://www.e-ihighway.jp/pcsite/</a>
ドラぶら <a href="https://www.driveplaza.com/">https://www.driveplaza.com/</a>	アイハイウェイ (西日本) <a href="https://ihighway.jp/pcsite/">https://ihighway.jp/pcsite/</a>

**異常気象時の高速道路影響予測**

国の「緊急情報」や、「特別警報」が発令されるようなときには、高速道路各社と気象予報会社が連携して注意喚起の広報が行われるサイトです。なお、平常時は「現在、大雨や台風に関する情報を発表していません。」などと表示されています。

(株) ウェザーニュース  
<https://weathernews.jp/v/road/>

 NEXCO東日本 <a href="https://www.e-nexco.co.jp">https://www.e-nexco.co.jp</a>	 NEXCO中日本 <a href="https://www.c-nexco.co.jp">https://www.c-nexco.co.jp</a>	 NEXCO西日本 <a href="https://www.w-nexco.co.jp">https://www.w-nexco.co.jp</a>
首都高速道路(株) <a href="https://www.shutoko.co.jp/">https://www.shutoko.co.jp/</a>	阪神高速道路(株) <a href="https://www.hanshin-exp.co.jp/company/">https://www.hanshin-exp.co.jp/company/</a>	本州四国連絡高速道路(株) <a href="https://www.jb-honshi.co.jp/customer_index/">https://www.jb-honshi.co.jp/customer_index/</a>

## 輸送支援サービス\*

(一財) 日本気象協会  
**GoStopマネジメントシステム**  
<https://www.jwa.or.jp/news/2020/05/9795/>

(株) ウェザーニュース  
**最適輸送計画支援サービス**  
<https://jp.weathernews.com/news/31362/>

※令和2年10月1日から有料

異常気象時における通行止めの可能性は各サイトのニュースリリースをご覧ください。